

ふじ い ひろ ひさ  
**藤井裕久** VS  
**橋本聖子** 自民党  
参議院議員

子育て世代が  
頑張らなくてどうする。

# 緊急対談

# 未来をつくる責任!

ふじ い ひろ ひさ  
**藤井裕久** VS  
**稲田朋美** 自民党  
衆議院議員

伝統と創造  
日本の未来を考える。

歩く。聞く。  
応える。  
自民党

## 希望と絆のふるさと富山!

子どもたちの未来は  
私たちが創る。

「PTA活動の活性化」

家庭と学校と地域をつなぐPTA活動を積極的に支援します。

「学校教育の充実」

教育は国家百年の計。35人学級の早期実現、教室等の施設整備はもとより、家庭・学校・地域行政が協力してより良い教育環境を創ります。

「ふるさと教育の推進」

ふるさとを愛する心、人を愛する心、思いやりの心を育成し、子どもたちの生きる力を育みます。



大きな夢

助け合う社会が地域福祉の  
基本だと思う。

「子育て支援の充実による少子化対策」

保育園などの育児施設の充実や経済的負担の軽減により、子どもを生み育てやすい環境を整えます。

「医療・介護への支援拡充」

医師・看護師の確保に力点を置くとともに、医療施設・福祉施設の整備を推進します。

「障がい者福祉の充実」

障がいをもつ方が、いきいきと社会参画するための支援充実をします。

「危機管理の充実」

行政による消防・警察機能の充実と、自助・互助・公助の精神が息づく住民自治防衛への支援をします。



確かな安心

緑・水・空気、かけがえのない  
自然を未来に伝えたい。

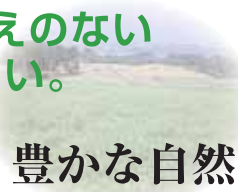
「学校や職場での環境教育の推進」

教育現場での自然体験・環境教育や日常の企業活動を通じて環境保護

への意識を高揚し、豊かな自然を未来へつなぎます。

「地域循環型社会の確立」

ゼロエミッションの推進により地域循環型社会の実現を目指します。



豊かな自然

ふじ い ひろ ひさ  
**藤井裕久**  
はこう考えます。

いきいきとした  
長寿社会を実現する。

「生涯スポーツと生涯学習の推進」

心身ともに健康に生きる。やりたい事、喜び、生きがいがあるから人は輝く。

生涯スポーツや生涯学習、レクリエーション活動を積極的に支援します。

「地域間交流と世代間交流の推進」

地域行事や学校行事への支援により、人と人との交流が生まれ、絆を生み、地域力を育みます。



輝く希望

働く場所がある、働きがいがある、  
だからみんな元気になれる。

「地場産業と地域商工業への支援拡充」

薬業等の地場産業の活性化を支援します。地域商工業者の元気が地域の雇用を創出します。

「人材育成と職場環境整備の促進」

企業は人なり。人材育成と職場環境の整備促進により、働きがいのある強い企業を創ります。

「急激な国際化と地域間競争への対応」

北陸新幹線、高速道路網、港湾、空港等の立地条件を活かした産業集積と富山県の観光化を推進します。



みなぎる活力

農林水産業を守ることは、  
命を守ることだと思う。

「農業を守り育てる」

米作はもちろんのこと、産地に応じた地域ブランドを確立するとともに、

生産者に対する支援拡充と後継者の育成をはかります。

また、日本の農業や食を守る上でもTPP(環太平洋経済連携協定)への即時加盟には断固反対します。

「食育と地産地消の推進」

青少年や一般消費者に対する食育と、地産地消の推進により、食料自給率を上げ、地域の農業を守り育てます。



大切な命

後援会にご入会ください。

藤井裕久後援会は、藤井裕久を後援することにより、地域の発展と住民相互の交流を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とする団体です。現在、後援会の趣旨に賛同していただける会員を募集しています。どなたでもご参加いただける開かれたコミュニティを目指しておりますので、お気軽にご入会ください。

藤井裕久連合後援会事務所

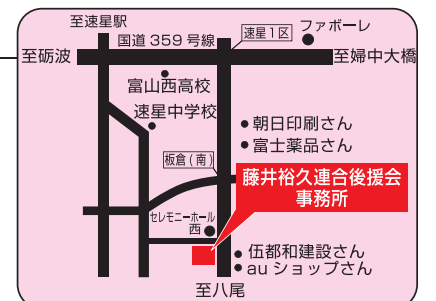
〒939-2726 富山市婦中町蔵島91  
TEL 076-465-7270 FAX 076-465-7070  
fujii@hirohisa.nakama.to

後援会事務所は、皆様の交流の場としてご利用いただけます。ご利用の際は予め後援会事務所にご連絡ください。

インターネットからのご入会が可能になりました。

下記にアクセスして頂き、必要項目をご入力ください。

URL <http://hirohisa.nakama.to>



# 緊急対談

参議院議員の橋本聖子氏(比例区・当選3回)と福井県1区選出の衆議院議員・稲田朋美氏(当選2回)が藤井裕久連合後援会事務所を激励に訪れ、橋本先生とは子育てや女性の社会参画について、稲田先生とは日本の未来について、意見交換しました。

藤井裕久(ふじい ひろひさ) 1962年(S37年)4月5日生 48歳  
福中町立神保小学校、城山中学校、県立富山東高等学校 工学院大学工学部 建築学科 卒業  
中学高校と野球部に所属し4番キャッチャーとして活躍、富山に帰省してからは、仕事に没頭する傍ら、社会活動に積極的に取り組む  
現在：株式会社藤井産業 代表取締役 あおぞら子ども福祉会かど保育園 理事 家族：父、母、妻、長男、次男、三男、長女の8人家族



働き盛り!  
子育て真っ盛り!  
48歳



藤井 私は3男1女を持つ父親ですが、橋本先生も3男3女を育てておられますね。特に、国会議員としての激務の中、3人を出産されたこと聞きました。仕事との両立という面で大変な苦労があったと思いますが。

橋本 最初の子を産んだときは、参議院に産休制度はなかったのです。私の出産がきっかけとなり、議事を欠席する場合の理由として初めて体を鍛えてこられたから、出産後すぐに元気で仕事に復帰されたと聞いています。

## 「安心して子どもを産み育てる環境づくりを」 橋本聖子VS藤井裕久 「自身出産を契機に参院に初めて産休制度」

藤井 「出産」が公的に認められるようになりました。

橋本 そうです。初めは自分にとっては産休の必要性をあまり感じていませんでした(笑)。出産の前日まで働き、産後1週間で仕事に復帰したこともあります。



藤井 元オリンピック選手の橋本先生はスポーツを通して「自身出産を契機に参院に初めて産休制度」

環境を整えていくことが急務だと考えています。橋本 その通りだと思います。産休についても、制度はあっても取得しにくい環境で働いている女性が多いのです。仕事と子育ては肉体的にも精神的にも大変ですが、しかし、大きな喜びもあり、そこから学ぶことも多くあります。そして、男女共同参画社会という理想を実現



するには、女性に頑張ることを強要するのではなく、家族や地域、社会システムに「理解」が必要なのです。藤井 安心して子どもを産み育てることのできるふるさと富山にするため、私も全力で頑張ります。ありがとうございました。



藤井 稲田先生は「伝統と創造」という政治信条の中で、家族やふるさとを大切にしていることと説いておられますね。

稲田 そのことです。家族やふるさとを高め、日本の良き伝統と国柄をしっかりと取り戻しながら、新しい日本を創っていく運動を行っています。伝統と国柄を守るためには絶えず改革を進めねばなりません。

藤井 私は青年会議所やPTAの活動を通じて、教育を充実させる必要性を痛感しました。教育は国家百年の計です。35人学級を早期に実現させるなど教育環境の整備はもちろんです。家庭と学校、地域が連携、協力していくために、行政によるPTA活動の支援をもっと強化すべきだと考えています。

稲田 子どもたちが夢を描けないでしようか。今、日本に、いや世界に必要なことは、お金儲けのグローバルリズムや力で相手を屈服させる覇権主義でなく、道徳的な正しさだと思っています。

## 「PTAこそ家庭・学校・地域の絆を創る主役」 稲田朋美VS藤井裕久 「未来に向けて、日本の伝統と美徳を守りたい」

稲田 大いに賛成ですね。日本は戦後の60年に経済大国になり、物質的な豊かさのみを追い求めた結果、日本人の美しい心を失いました。また、お金儲けのために美しい国土も傷つけてしまいました。そろそろ、こうした拝金主義を取り戻して、「世界一美しい日本」を守ろうではありませんか。そのためにはまず、地域の中から、ふ

す。そして、ふるさと教育を推進することによって、ふるさとを知り、愛する心、他人を思いやる心を育まねばなりません。

稲田 クロスカップリングという理論でノーベル化学賞を取った鈴木章、根岸英一の両教授は特許を取得しなかったそうです。自分たちのお金儲けの材料にするのではなく、社会に役立ててもらおうためです。これこそが世界に誇るべき日本人の美徳では



## 「保守本流」をゆく。 とうほんせいそう 東奔西走

保守とは、時代が変わろうとも変えてはいけないもの、守るべきものはしっかりと守り、時代とともに変えるべきことを勇気を持って変えてゆくことだと思っています。

今、私たち大人が守らなければいけないものは、日本人が大切にしてきた家族や地域の絆であり、道徳心や自助・互助・公助の精神だと思っています。

このことをしっかりと胸に刻み、「希望と絆のふるさと富山を創るため、自ら信ずる道を買っていききたい」と思います。



藤井 私も、日本の地域社会が少しずつおかしくなっていると感じています。地域の若者がふるさとを出て都会へ働きに行き、そのため地域

金儲けのために美しい国土も傷つけてしまいました。そろそろ、こうした拝金主義を取り戻して、「世界一美しい日本」を守ろうではありませんか。そのためにはまず、地域の中から、ふ

稲田 クロスカップリングという理論でノーベル化学賞を取った鈴木章、根岸英一の両教授は特許を取得しなかったそうです。自分たちのお金儲けの材料にするのではなく、社会に役立ててもらおうためです。これこそが世界に誇るべき日本人の美徳では



後援会の仲間と街頭で支持をお願いする  
出勤時間帯のあいさつ風景

稲田朋美プロフィール  
1959年2月20日生まれ。福井県今立町(現越前市)出身。早稲田大学法学部を卒業後、弁護士として活躍。2005年山谷えり子参議院議員を介し、自民党幹事長代理の安倍晋三から要請を受け、福井1区から自民党公認で総選挙に出馬し初当選(現在2期目)。著書には「百人斬り裁判から南京へ」「私は日本を守りたい 家族、ふるさと、わが祖国」がある。

橋本聖子プロフィール  
1964年10月5日生まれ。北海道出身。オリンピックの聖火にちなんで「聖子」と名付けられ、3歳からスケートを始める。駒沢大学附属小牧高校2年の時スピードスケート日本一になり、以後10年間タイトルを守り続ける。卒業後、83年富士急行へ入社。翌年、オリンピック初出場を果たし、以後、オリンピック女子世界最多出場(女子タイ・7回)を記録。現在は、国会議員として、母親として活躍し続けている。